

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

社会福祉法人マハヤナ学園
マハヤナ第二保育園

1. 活動のテーマ

遊びの空間づくり(積み木)

＜テーマの設定理由＞

園舎の建替え工事中、子どもたちは建物が建っていく様子に興味を高めながら完成に至った。完成した室内空間や、園庭環境は子どもたちの遊びのイメージを拡げながら創り上げていけるように過ごしている中で、新たな空間で自分たちのあそび場のイメージを膨らませていく過程、みんなで関わりながらイメージを共有し協同していく作業に取り組めることをねらいとした。

2. 活動スケジュール

- ① 1ヶ月目 最初に積み木(小)『カワワログ』などを導入し遊びを発展させ3グループに分かれて話し合いながら組み立てを繰り返し記録を残す。
- ② 2ヶ月目 期間を経て、もっと大きな積み木(大)『ドリームログ』の木材を実際に園庭に出して組み立ててみる。
- ③ 3ヶ月目 出来上がったものを自分たちで撮影し記録に残し、その後解体し、再び製作などをくり返す。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

積み木(小)、積み木(大)、iPad、パソコン他

- ・ 改めて園舎が出来上がってきたイメージを、写真など共有する。
- ・ その後、積み木(小)『カワワログ』を使って、設計図のイメージで色々と組み立て方を試行錯誤しながら繰り返し行い試してみる。
- ・ 机で作業した積み木(小)『カワワログ』から大きなサイズの『ドリームログ』の木材を実際に園庭に運んで組み立てる。

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

- ・ 積み木遊びの延長で積み木(小)『カワワログ』を3グループに分かれて話し合いながら組立てを繰り返す活動を導入する。
- ・ 大きな『ドリームログ』では、木材を実際に園庭に出して組み立ててみる。出来上がったものを自分たちで撮影し記録に残し、その後解体し、再び製作などをくり返す。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

- ・ 積み木(小)『カワワログ』を3グループに分かれて話し合いながら組み立てを繰り返して、どん

なものが作れたか見せ合う。見せ合う中で、こんな風にしたい、足りないなどの意見を伝えあったり、うまくいかずやめてしまったり、うまくやり取りができずなど試行錯誤する姿がある。

- ・ 大きな『ドリームログ』では、実際に木材を園庭に出して、友だちと一緒に運んだり、サイズを見ながら入れ替えたりするなど、実際にお家を組み立て「入り口や窓はこうしたらできる」など出入りしながら作っていく姿が見られる。出来上がったものを自分たちで撮影し記録に残し、その後解体し、「今度はこんな風なのにしたいたい」などを話題になる。繰り返しの中で、もっと木材が必要などの話をする姿もあり、体験的にイメージを膨らませている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段の積み木遊びや製作などから、自分たちの作ったものが実際には入れたり、組み立てたりすることが思ったより難しいことや簡単でないことも知る機会であった。完成した遊具や与えられた環境の中で工夫して遊ぶだけでなく、子どもたち自ら自分で考えて遊具を作ったり遊び方を考える。また友だちと一緒に協力したり、意見を受け入れたり受け入れてもらったり相互のやり取りから想像力を膨らませる姿を保育士も見守ることができ、子ども同士のやり取りする姿にも様々な気づきや育ちの一面を見る視点が持てる活動であった。引き続き異年齢での活動に取り入れたり遊びの発展につなげていきたい。